



＜学校の教育目標は「すすんで励もう」です。＞

いよいよ二学期最後の1週間になりました。22日は「冬至」。1年で一番昼が短く、夜が長い日です。栄養たっぷりのかぼちゃを食べたり、体を温める働きのある柚子湯に入ったりする風習があります。冬の寒さを乗り切るための昔の人の知恵ですね。



合ってますか？

二学期末の放課後個別学習会が始まりました。たくさんの方が参加し、計算練習などに取り組みました。「習うより慣れろ」と言いますが、たくさん問題を解くうちに、間違いも少なくなり、問題を解くのも早くなります。



もうすぐ校内持久走大会です。それぞれの学年に合わせた距離を、体育の授業で練習しています。順位やタイム、完走することなど、自分が立てた目標が達成できるように走れるといいですね。お友達も応援してあげましょう。



がんばるぞ！



強そうだね

村上海賊ミュージアムから、学芸員さんが出前授業に来てくださり、四年生が村上海賊のことや、地域の歴史について学習しました。昔、この地域で活躍した人のことや、日本遺産にも選ばれていることが分かりました。



もうすぐ年末、そしてお正月を迎えます。年末からお正月にかけて、地域や家庭ではいろいろな行事があります。大掃除、年越しそば、除夜の鐘、初詣、お節料理、書き初め、そしてお年玉・・・こうした年中行事には一つ一つ意味があり、一年間平穏に過ごせたことへの感謝の気持ちや、新しい一年が健康で、良い年になるようお願いが込められています。おうちの人も準備などのため、いろいろと忙しいと思います。一つ一つの意味や由来を考えながら、ぜひ、できることをお手伝いしてみましょ。

